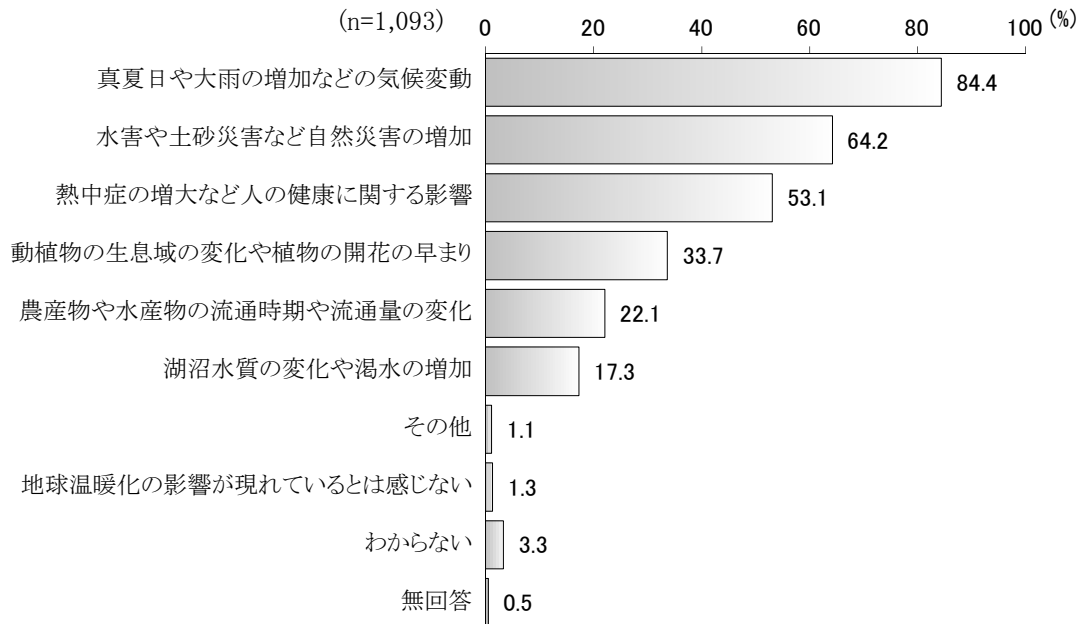


## VI 地球温暖化対策

### 1. 地球温暖化による影響が現れていると感じること

#### －「真夏日や大雨の増加などの気候変動」が8割台半ば－

問15 あなたの身近な範囲で、地球温暖化による影響が既に現れていると感じることがありますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



地球温暖化による影響が現れていると感じることは、「真夏日や大雨の増加などの気候変動」(84.4%)が8割台半ばと最も高く、次いで、「水害や土砂災害など自然災害の増加」(64.2%)が6割台で続いている。

#### －県西で「水害や土砂災害など自然災害の増加」が約7割－

地域別でみると、「水害や土砂災害など自然災害の増加」は、県西(70.1%)で約7割と最も高くなっている。

#### －女性で「熱中症の増大など人の健康に関する影響」が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると、「熱中症の増大など人の健康に関する影響」は、女性(58.1%)が男性(47.7%)よりも約10ポイント高くなっている。また、「動植物の生息域の変化や植物の開花の早まり」は、女性(36.4%)が男性(30.8%)よりも約6ポイント高くなっている。

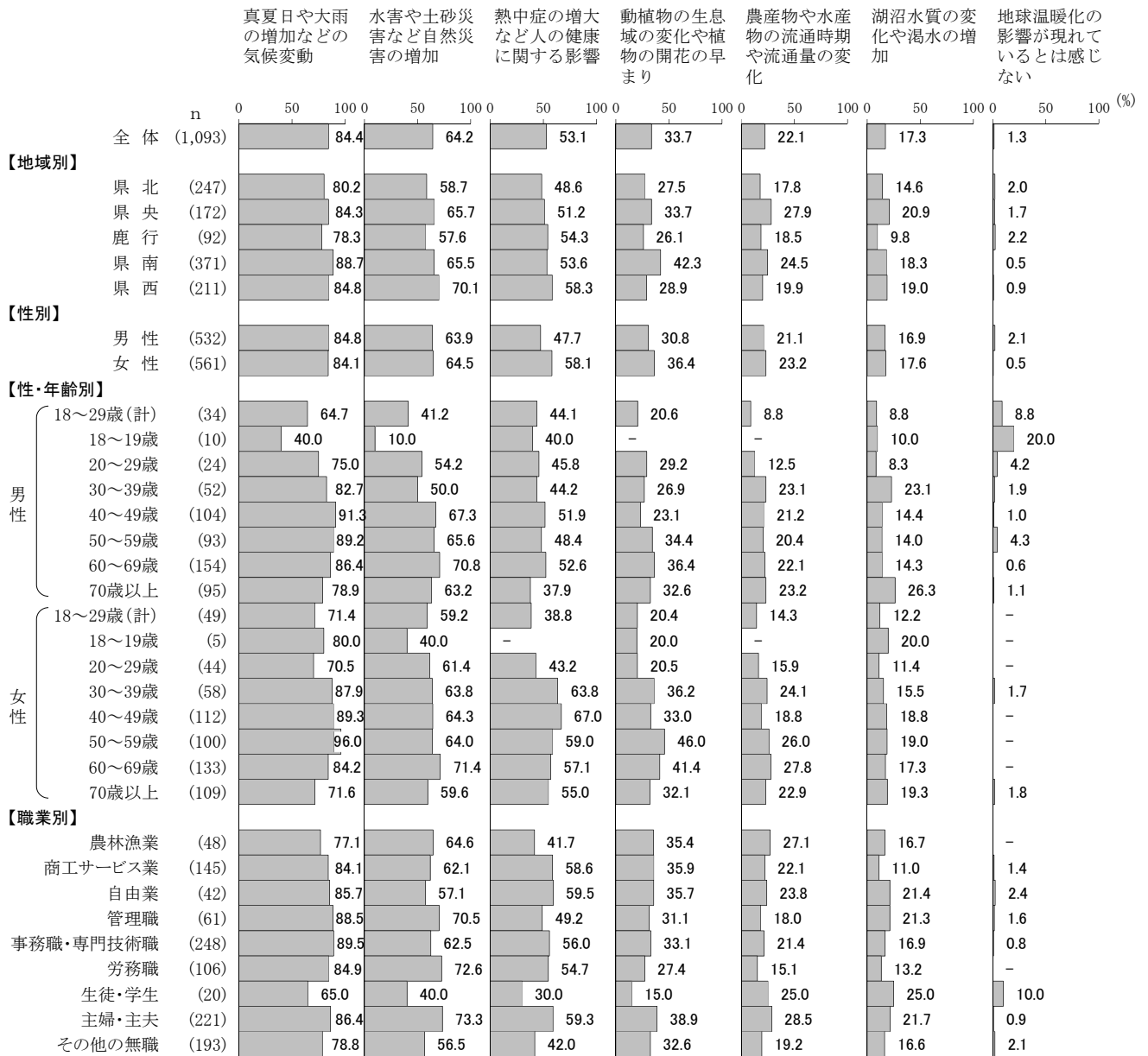
#### －女性の50代で「真夏日や大雨の増加などの気候変動」が9割台半ば－

性・年齢別でみると、「真夏日や大雨の増加などの気候変動」は、女性の50代(96.0%)で9割台半ばと最も高く、次いで、男性の40代(91.3%)で9割を超えて高くなっている。

#### －女性の30代と40代で「熱中症の増大など人の健康に関する影響」が6割台－

性・年齢別でみると、「熱中症の増大など人の健康に関する影響」は、女性の30代(63.8%)と40代(67.0%)で6割台と高くなっている。

図VI 15-1 地球温暖化による影響が現れていると感じること  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別)

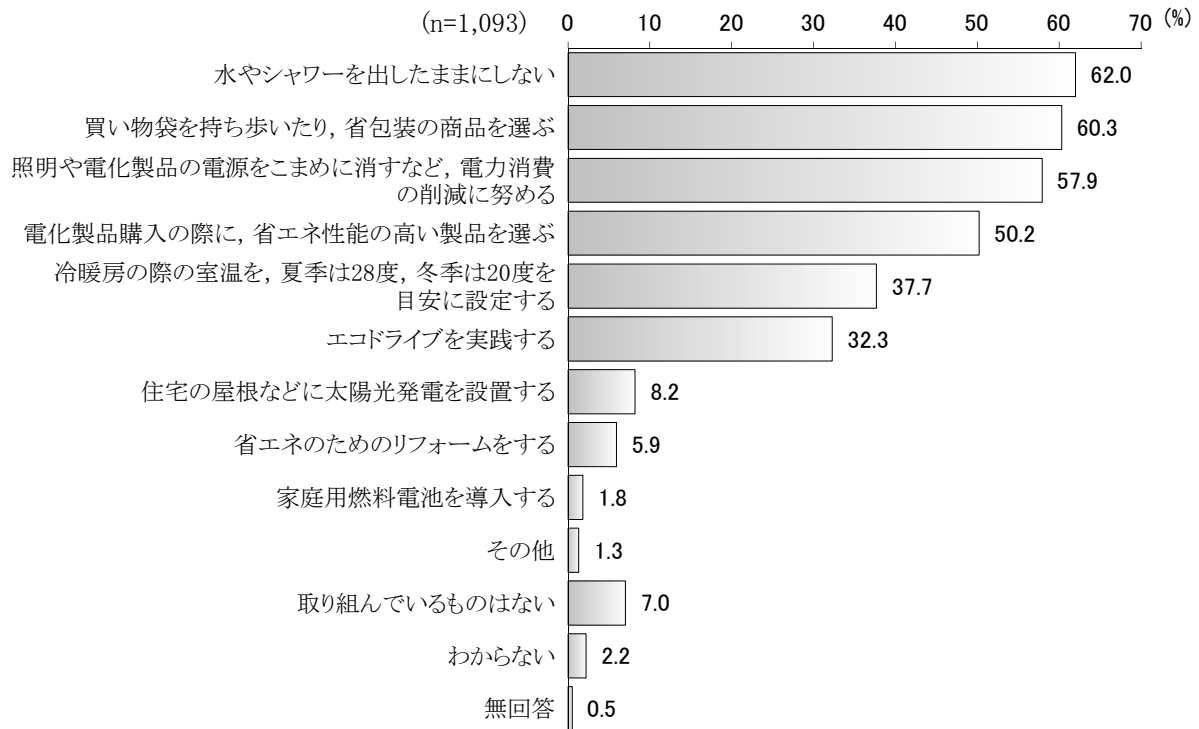


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。  
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

## 2. 地球温暖化防止のために家庭で取り組んでいること

### －「水やシャワーを出したままにしない」と「買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選ぶ」が6割超－

問16 地球温暖化防止のために、あなたは家庭で実際に対策に取り組んでいますか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



地球温暖化防止のために家庭で取り組んでいることとしては、「水やシャワーを出したままにしない」（62.0%）と「買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選ぶ」（60.3%）が6割を超えて高く、次いで、「照明や電化製品の電源をこまめに消すなど、電力消費の削減に努める」（57.9%）と「電化製品購入の際に、省エネ性能の高い製品を選ぶ」（50.2%）が5割台で続いている。

### －県南で「照明や電化製品の電源をこまめに消すなど、電力消費の削減に努める」が6割台半ば－

地域別でみると、「照明や電化製品の電源をこまめに消すなど、電力消費の削減に努める」は、県南（63.3%）で6割台半ばと最も高くなっている。また、県南では「電化製品購入の際に、省エネ性能の高い製品を選ぶ」（58.5%）が約6割、「冷暖房の際の室温を、夏季は28度、冬季は20度を目安に設定する」（47.4%）が約5割と、それぞれ他の地域よりも高くなっている。

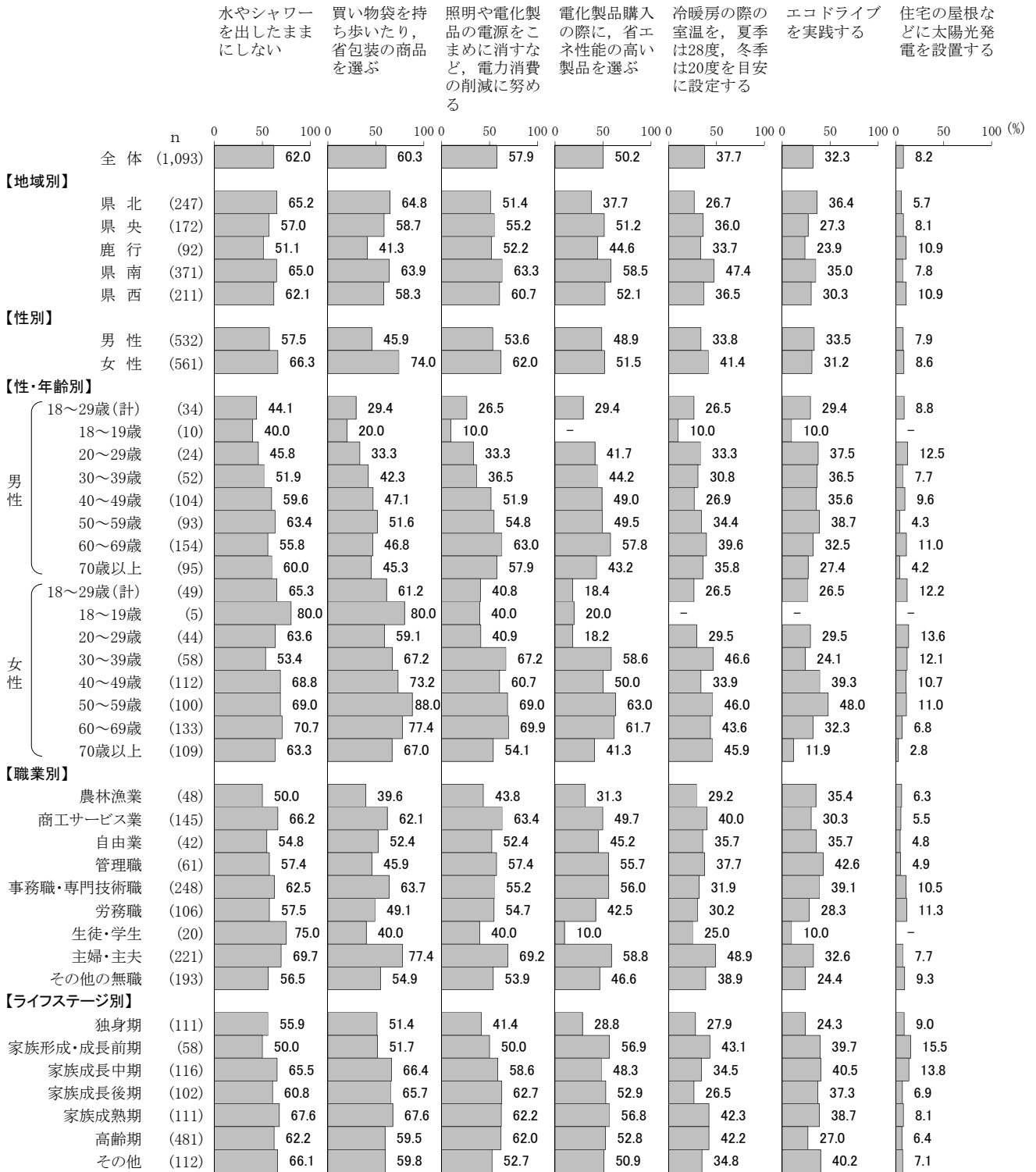
### －女性で「買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選ぶ」が男性よりも約28ポイント高い－

性別でみると、「買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選ぶ」は、女性（74.0%）が男性（45.9%）よりも約28ポイント高くなっている。また、「水やシャワーを出したままにしない」は、女性（66.3%）が男性（57.5%）よりも約9ポイント、「照明や電化製品の電源をこまめに消すなど、電力消費の削減に努める」は、女性（62.0%）が男性（53.6%）よりも約8ポイント、「冷暖房の際の室温を、夏季は28度、冬季は20度を目安に設定する」も、女性（41.4%）が男性（33.8%）よりも約8ポイント高くなっている。

—女性の50代で「買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選ぶ」が約9割—

性・年齢別でみると、「買い物袋を持ち歩いたり、省包装の商品を選ぶ」は、女性の50代(88.0%)で約9割と最も高く、次いで、女性の40代(73.2%)と60代(77.4%)で7割台と高くなっている。

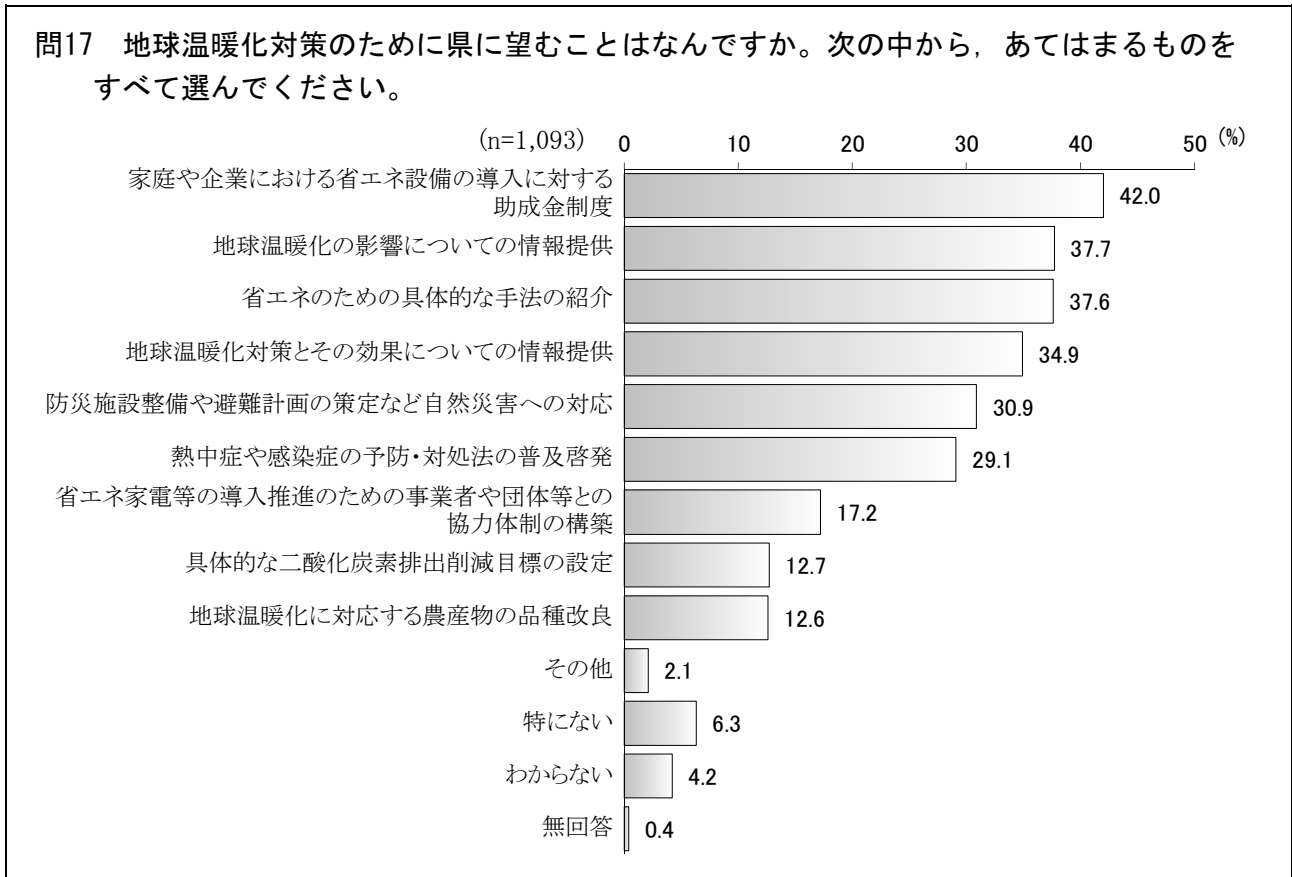
図VI 16-1 地球温暖化防止のために家庭で取り組んでいること  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。  
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

### 3. 地球温暖化対策のために県に望むこと

#### －「家庭や企業における省エネ設備の導入に対する助成金制度」が4割超－



地球温暖化対策のために県に望むこととしては、「家庭や企業における省エネ設備の導入に対する助成金制度」(42.0%)が4割を超えて最も高く、次いで、「地球温暖化の影響についての情報提供」(37.7%)と「省エネのための具体的な手法の紹介」(37.6%)が3割台後半で続いている。

#### －県南で「地球温暖化の影響についての情報提供」が4割台半ば－

地域別でみると、「地球温暖化の影響についての情報提供」は、県南(45.8%)で4割台半ばと最も高くなっている。

#### －県西で「省エネのための具体的な手法の紹介」が4割台半ば－

地域別でみると、「省エネのための具体的な手法の紹介」は、県西(46.9%)で4割台半ばと最も高くなっている。

#### －女性で「熱中症や感染症の予防・対処法の普及啓発」が男性よりも約9ポイント高い－

性別でみると、「熱中症や感染症の予防・対処法の普及啓発」は、女性(33.3%)が男性(24.6%)よりも約9ポイント高くなっている。また、「省エネのための具体的な手法の紹介」は、女性(40.8%)が男性(34.2%)よりも約7ポイント高くなっている。

#### －30代で「家庭や企業における省エネ設備の導入に対する助成金制度」が6割－

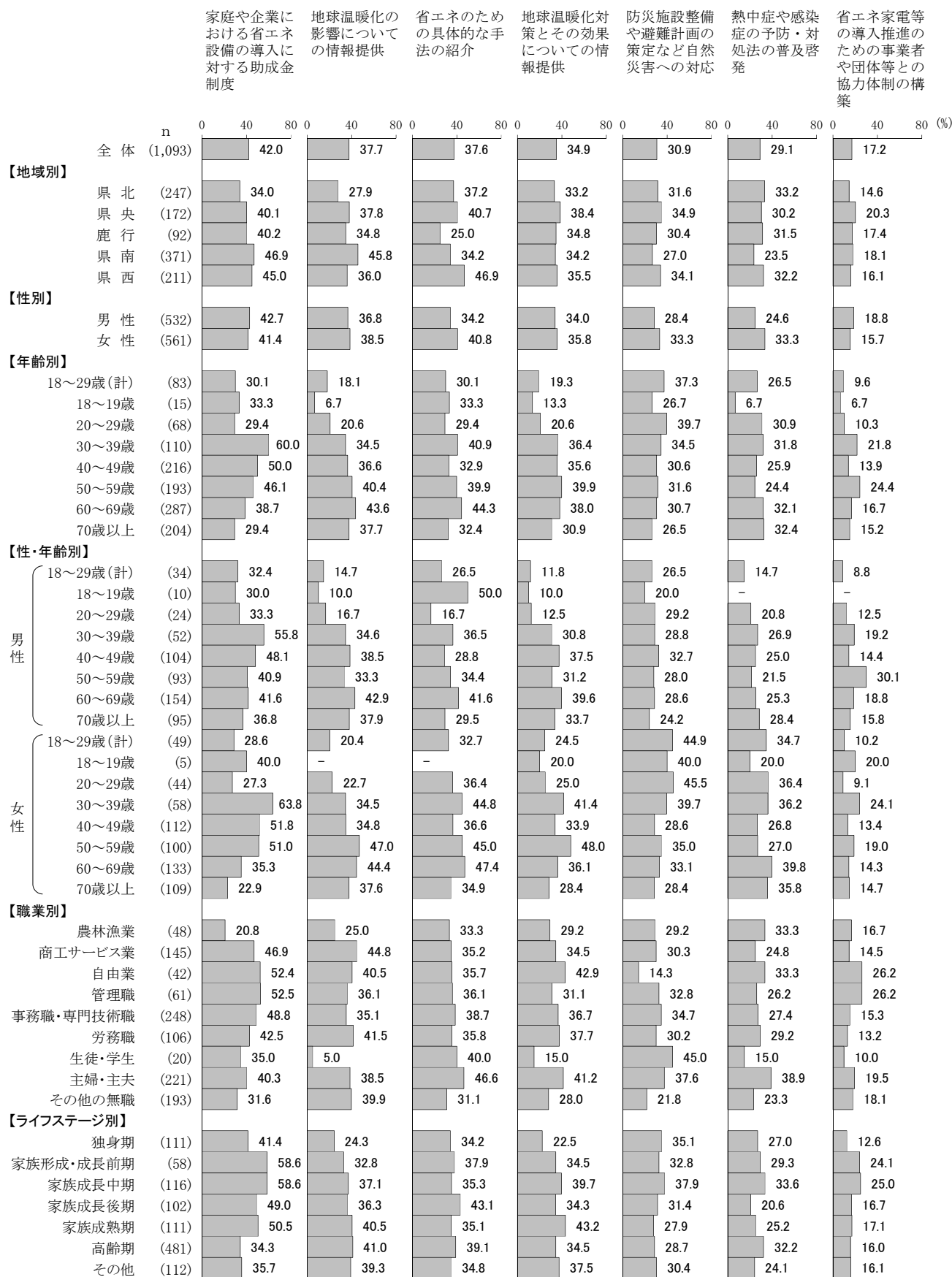
年齢別でみると、「家庭や企業における省エネ設備の導入に対する助成金制度」は、30代(60.0%)で6割と最も高く、次いで、40代(50.0%)で5割と高くなっている。

#### －管理職と自由業で「家庭や企業における省エネ設備の導入に対する助成金制度」が5割超－

職業別でみると、「家庭や企業における省エネ設備の導入に対する助成金制度」は、自由業(52.4%)と管理職(52.5%)で5割を超えて高くなっている。

図VI 17-1 地球温暖化対策のために県に望むこと

(地域別, 性別, 年齢別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。  
年齢別, 性・年齢別では, 18~19歳, 20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。